

シリーズ映像でみる人権の歴史

第1巻

東山文化を支えた「差別された人々」



上映時間 16分 [C#6595]

DVD 本体価格 66,000円(税抜)

2タイトル収録
・小学生版
・中学生以上版

※このDVDには、解説・指導の手引・資料類をPDF形式で収めています。

第2巻

江戸時代の身分制度と差別された人々



上映時間 15分 [C#6596]

DVD 本体価格 66,000円(税抜)

2タイトル収録
・小学生版
・中学生以上版

※このDVDには、解説・指導の手引・資料類をPDF形式で収めています。

小・中・高等学校の社会科教科書では、2000年代のはじめごろまでに、大きな変化が起こりました。人権の歴史、なかでも部落問題に関する記述が大幅に増加し、内容も豊かになりました。もちろん各教科書会社の傾向は少しずつ異なりますが、大まかに「中世河原者の庭づくり」「江戸時代の身分制度」「解体新書」「洪染一揆」「解放令」「水平社」「戦後の同和施策」などのテーマについて多くの教科書が取り上げるようになってきました。そして、それぞれの記述内容も大きく変わりました。以前の教科書を読んできた世代から見ると、その違いは目を見張るばかりです。

この背景には、学問研究をすすめて日本の歴史を見直そうとする、多くの人々による研究の深まりと広がりがあります。とくに、今日なお存在する部落差別に対し、「差別はどのように生じたのか」「被差別民衆は、その中をどのように生きたのか」などを実証的に明らかにすることで、解決の道筋を見いだしていこうとする取り組みが、教科書記述にも反映してきた結果だといえます。

この「シリーズ映像でみる人権の歴史」は、そうした新しい研究の成果と教科書記述の変化をふまえ、発見された最新の史料を積極的に活用して映像化、教科書で授業を進める場合の補助教材、あるいは社会啓発を行う場合の学習教材として作成しました。とくに、若い世代の先生や担当の方々が、初めて「人権の歴史」を取り上げる場合、その基礎理解にも役立つよう工夫しました。そして授業実践や啓発を深めるための参考資料も、文字データとしてできるだけ多く添付しました。

なお、小学校と中学校以上の教科書では、記述量、「穢多」「非人」などの呼称を使うかどうかに大きな違いがあります。このため本DVDは、授業で活用されることも想定し、ナレーションを「小学生版」(被差別者の呼称を極力使わない)と「中学生以上版」(被差別者の呼称を使う)に分けて作成し、それぞれのDVDに、「小学生版」と「中学生以上版」の2タイトルで収録し、選択して視聴できるようにしています。

監修

上杉 聰(うえすぎ さとし)



千葉敬愛学園工高高等学校教諭から結婚を機に大阪の被差別部落に居住して部落史研究を開始、1982年から関西大学で、1985年からは大阪市立大学でも部落史(いづれも通史)を担当。2009年大阪市立大学特任教授、2011年同大人権問題研究センター特別研究員

【主な著書】
『部落史がわかる』三一書房 1997
『これでわかった!部落の歴史』解放出版社 2004
『これでなっと!部落の歴史』解放出版社 2010
『近代部落史資料集成』第1・2巻
三一書房 1984・1985

外川 正明(とがわ まさあき)



京都市立小学校教諭、京都市教育委員会指導主事、京都教育大学教授をへて、現在、鳥取環境大学教授、世界人権問題研究センター嘱託研究員、京都部落問題研究資料センター運営委員、京都教育大学名誉教授

【主な著書】
『部落史に学ぶ—新たな見方・考え方—にたつた学習の展開—』解放出版社 2001
『教育不平等—同和教育から問う「教育改革」—』解放出版社 2002
『部落史に学ぶ②—歴史と出会い—未来を語る多様な学習プラン—』解放出版社 2006
『元氣のもととはつながる仲間—解放教育の再生をめざして—』解放出版社 2009 他



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

シリーズ映像でみる人権の歴史

第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」

人権を侵害されてきた人々について、私たちは「マイナス・イメージ」でとらえがちです。しかし、世界遺産である銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくったのは、実は「河原者」であったという歴史事実は、こうしたイメージをまったく逆転させました。すでに、小学校や中学校の教科書でも、「差別された人々」の功績が多く取り上げられています。では、偉大な芸術家であった河原者が、なぜ差別されたのでしょうか。このDVDでは、「河原者は差別を受けていたにもかかわらず偉大な芸術家になった」という事実を、丁寧に描きました。

また、差別されてきた河原者を、その芸術面の力で率直に評価し重用した足利義政、自分たち僧侶より立派だと讃えた景徐周麟など、山水河原者に活躍の場を与えた人々の存在もしっかり描き、こうした差別しなかった人々の姿も強調しました。世界に誇る文化遺産は、差別された人々と差別することなく正しく評価した人々によって築かれたことを、銀閣寺観音殿二階からの貴重な夜景映像などを通して、共に学びあう教材となっています。

対象
単元

小学校社会科〔第6学年〕(1)(1)エ
中学校社会〔歴史的分野〕(3)中世の日本 イ
「特別活動」「道德の時間」



第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々

かつて教科書は、身分序列を「士農工商えた非人」と示し、部落はその「最底辺」に置かれた存在として「身分は江戸時代に作られた」と書きました。しかし、最近の教科書では、「士農工商」という表現そのものがなくなり、部落についても、社会の下ではなく、「ほかに」「別に」「異なる」と表す教科書が増えています。また、身分制度は江戸時代に突然つくられたわけではなく、中世から引き続いてきたものという記述が多数となりました。このDVDでは、中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで身分を固定され、江戸時代に「制度化」されたことを、分かりやすく解説し、すでに間違いと分かり教科書から消えた「士農工商えた非人」の図式に代え、積極的に新しい図式を提示しました。それを示す具体的な例として、穢多頭・弾左衛門や様々な絵図をとりあげました。

また、部落差別の学習を通して、「イジメ」の問題を考えることや、中学生以上版では「非人」の存在を現代の「ホームレスの方々の人権」と関連させ発展的に学習できる工夫を加え、江戸時代の身分制度が決して現在の社会問題と無関係ではないことを示唆しています。

対象
単元

小学校社会〔第6学年〕(1)(1)オ
中学校社会科〔歴史的分野〕(4)近世の日本 ア イ
「特別活動」「道德の時間」

